

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	令和2年度第3回河内長野市環境審議会
2 開催日時	書面にて開催
3 開催場所	----
4 会議の概要	1. 河内長野市第3次環境基本計画の策定について 2. その他
5 公開・非公開の別 (理由)	----
6 傍聴人数	----
7 問い合わせ先	(担当課名) 環境経済部 環境政策課 環境政策係 (内線 450)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

令和3年度河内長野市環境審議会意見交換会議事録

書面

■出席者

【委員】11名

- ・花田 眞理子（会長）：大阪産業大学デザイン工学部環境理工学科
- ・浦出 俊和（副会長）：摂南大学農学部食農ビジネス学科
- ・堀切 修平：大阪府森林組合南河内支店
- ・吉田 顕：河内長野ガス株式会社
- ・中西 弘幸：日本農薬株式会社総合研究所
- ・古久保 勲：関西電力株式会社大阪支社 東大阪コミュニケーショングループ
- ・竹田 義：公益財団法人河内長野市公園緑化協会
- ・木之下 純子：エコライフかわちながの
- ・堀 泰明：NPO 法人森林ボランティアトモロス
- ・槌野 弘文：公募
- ・辻 常男：公募

【事務局】

■議題

1. 令和2年度第3回河内長野市環境審議会（書面会議）の結果について
2. 環境基本計画について
 - ・概要版
 - ・本編

■議事

1. 令和2年度第3回河内長野市環境審議会（書面会議）の結果について

9名の委員全員から回答あり。

答申については会長、副会長に一任。

概要版、本編について指摘があり修正をしているので後段で説明。

2. 環境基本計画について

修正点のとおり、概要版、本編を修正。

追加の修正点

(概要版)

- P3 施策②
 - 「COOL CHOICE」等の取り組みを推進することにより削減に努める～
 - 各主体が連携・協働して取り組み、
- P4 環境指標修正
 - 外来生物対策を強化する。
 - 森林面積は現状を維持、確保する。
 - 農地面積は現状を維持、確保する。
- P6 環境指標修正
 - きれいまちづくりを推進するための施策を実施する。
- P7 環境指標修正
 - 環境の講座やイベントの充実を図る。

(本編)

- P32 施策2 ㊦
 - 市域の事業活動で排出される温室効果ガスの量を把握し、「COOL CHOICE」等の取り組みを推進することにより削減に努めるとともに、市民等と協働・連携し、イベントの開催や情報の発信に取り組みます。
- P36 温室効果ガス削減目標について、平成25年度比とする理由を追記
- P39 施策2 ㊧ ～省力化及び環境負荷の削減を～
- P41 施策1 ㊨ ～土壌汚染及び地下水の汚染対策を推進します。
- P41 施策1 ㊦
 - 「ダイオキシン類対策特別措置法」に基づき、工場・事業場への立入・規制・指導によりダイオキシン類対策を推進します。
- P45 施策1 ㊨ ～岩湧山茅場や～ ※茅葺や檜皮葺などの～
- P45 コラム内の名称 岩湧山山頂
- P48 環境指標修正
 - 外来生物対策を強化する。
 - 森林面積は現状を維持、確保する。
 - 農地面積は現状を維持、確保する。
- P49 環境指標修正
 - きれいまちづくりを推進するための施策を実施する。
 - 環境の講座やイベントの充実を図る。
- P36 (追加) 温室効果ガス削減目標について、平成25年度比とする理由
 - 温室効果ガス削減目標については、平成28年5月、パリ協定を踏まえて発表された地球温暖化対策計画における日本の中期目標、すなわち令和12年度において、

平成25年度比26.0%減（平成17年度比25.4%減）の水準にすることに基づいています。

その内、エネルギー起源CO₂については、産業部門6.5%減、業務その他部門39.8%減、家庭部門39.3%減、運輸部門27.6%減などとなっています。

これらを本計画の事務事業編、区域施策編において算出している排出ガスの部門ごとにあてはめると事務事業編の目標は39.5%減、区域施策編の目標は30.9%減となります。